



**注意**

## 『圧力センサ使用上の注意』

作成：2012.12

### ■ 加工について

- 1) ピンの長さは通常のエジェクタピンと同様に切断出来ます。構造上、ピン部がツバ部に対して回転するため、斜めカットや形状加工が出来ません。フラットに切断する必要があります。
- 2) センサが組み込まれているツバ部は防水機能がありません。切削水等が進入するとショートして破損する可能性がありますので、ドライカット、ドライ研削をお願いします。
- 3) 加工の際は、ピン部を保持して行う様にお願ひ致します。ツバ部をクランプしますと、内部センサが破損して測定が不可能となります。又、過剰な振動が加わらないように注意願ひます。  
なお、ツバ部にはセンサが組込まれているため、ツバカットは出来ません。(回り止め加工不可。)
- 4) サンダー、グラインダー等による切断は、センサ部の破損に繋がりますので、絶対にお止めください。
- 5) ピン側面加工は、座屈や短寿命化に繋がりますので、絶対にお止めください。
- 6) 圧力センサは構造上、圧力が加わるとピン部が垂直方向(短くなる方向)にストロークします。  
圧力 100MPa 相当負荷時のストローク量の目安は下表の通りです。  
成形品が凸不可などの場合は、ストローク量を目安に長さを設定してください。

【実測値一例】

ピン径[mm]	φ0.8	φ1.0	φ1.2	φ1.5	φ2.0	φ2.5	φ3.0
100MPa 相当荷重[kgf]	5.13	8.01	11.5	18.0	32.0	50.1	72.1
ストローク量[mm]	0.050	0.040	0.040	0.055	0.073	0.080	0.076

- 7) オプションにて全長加工も賜りますのでご用命下さい。(+1,200 円)

### ■ 設置・使用について

- 8) 通常のエジェクタピンと同様、突出し用途でご使用できます。
- 9) 耐熱温度は、センサ部(ツバ部)で 150℃以下となっています。  
それ以上の熱がかかる場合は、センサ部を冷却する必要があります。
- 11) 測定中にセンサケーブルを強く引っ張ると、測定値に影響を及ぼす場合がありますのでご注意願ひます。
- 12) エジェクタピン形なので、既存のエジェクタピンを差し替えるだけで使用出来ます。エジェクタプレートがザグリタイプの場合は、ケーブルを通す溝加工が必要となります。(裏面の圧力センサ装着参考図を参照願ひます。)

### ■ 計測について

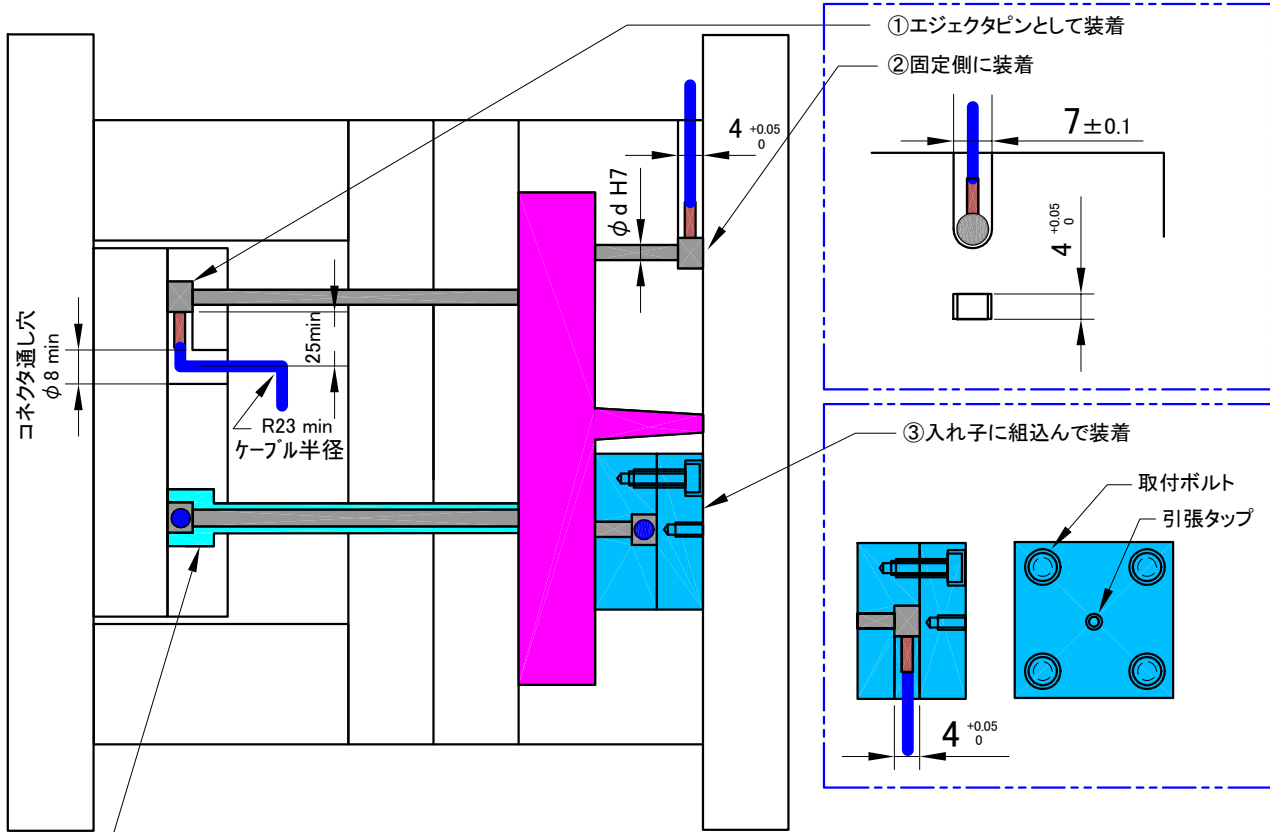
- 13) 測定範囲は 100MPa までです。それ以上の力が加わるとセンサ部の破損に繋がりますのでご注意願ひます。  
100MPa 相当荷重 (kgf) は、上記表を参照願ひます。
- 14) 圧力センサは、正確な計測を行うために出力感度の設定を行う必要があります。  
圧力センサケーブルに付いている感度区分 6 桁を計測ソフトに入力してから使用して下さい。  
※ピン径が同じでも個々に【感度区分】が異なる場合があります。
- 15) 圧力センサは直接、市販の計測機器や他社センサメーカー計測機器に接続する事は出来ません。  
弊社計測アンブおよび中継ボックスが必要となります。

## <圧力センサ装着参考図>

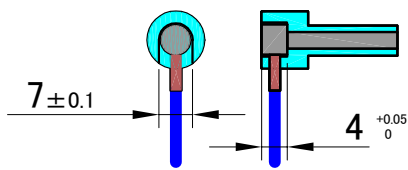
エジェクタプレートがスペーサタイプ(4mm)の金型には、既存のエジェクタピンを差し替えて装着できます。

装着例は、

- ①エジェクタピンとして装着する場合。
- ②固定側に装着する場合。
- ③入れ子に組み込んで装着する場合。
- ④スリーブピンに装着する場合。



- ④スリーブピンに装着  
※スリーブピンは弊社にて用意できます。  
注) センサ径はφ3 一般級公差となります。



センサ寸法図

